

郡山市図書館協議会議事録

令和5年度 第3回

| | | | |
|-----|-----------------|-------------|------|
| 日時 | 令和5年12月22日（金） | | |
| 場所 | 郡山市中央図書館3階:研修室1 | | |
| 出席者 | 委員 | 15名中11名 | 計21名 |
| | 事務局 | 中央図書館長以下10名 | |

議題

・館長・議長挨拶

議事

(1) 視察研修の報告について

担当職員から概況報告の後、参加委員から一言ずつ報告した。

委員：神奈川県立図書館について。利用者への配慮が行き届き、専門性特化しているが、大人だけの図書館となっており利用が伸びないのではないかと。放送ライブラリーに関しては、郡山市で視聴できるコンテンツが少なく、「ここまで来なくては見れない」というコンテンツが必要。

委員：神奈川県立図書館について。利用者自らが書架を操作できる点などが興味深かった。しかし、横浜市内に住む親族がほとんど利用しておらず、せっかくの施設が認知されていない感がある。

委員：神奈川県立図書館について。事前に児童書関連の扱いがいいことを知っていた方がよかった。利用者のニーズ、目的に対応した部屋があり便利。カフェ併設も良く、郡山でも導入してほしい。放送ライブラリーに関しては、番組しちょうのためではなく施設見学の施設化しており、本来の役割の周知が必要と感じた。

(1) 令和5年度事業報告について

資料により事務局から説明の後、質疑応答。

委員：こども司書養成講座の内容について

司書：NDC分類法、おはなし会の開催方法、ミニ・ビブリオバトルの開催等

委員：地域館のおはなし会等行事の参加人数の過多等について

安積図書館長：平日は参加が少ないこともある。

館長：広域利用が多い富久山は他2館よりイベント参加者も多い傾向がある。

委員：イベントの広報は？

安積図書館長：地域館の図書館だよりを管内の小学校・保育所に配布の他館内でも配布。

(2) 電子書籍について

資料により事務局から説明の後、質疑応答。

委員：小中学生へのID配布と利用増加の関連性について

事務局：年度当初全中学生に、夏休み明けに全小学生にID発行、卒業まで有効

委員：支援学校の生徒の対応について

館長：必要とあれば直ちに対応する

委員：電子書籍の複製・転売等の対策について

館長：アクセス制限は設けているが今後の課題とする。

委員：電子図書貸出とマイナンバーカードとの結合について（昭和村の報道を受けて）

館長：現時点ではセキュリティや費用対効果の関係で未定だが今後の状況次第で検討。

委員：電子書籍はコロナ交付金が主な財源だったが、来年度以降の財源確保は？

館長：来年度以降も財源の確保に努める。（児童図書優先）

(3) 視察研修及び放送ライブラリーについて

資料により事務局から説明の後、質疑応答。

委員：放送ライブラリーの利用傾向や利用の声掛けについて

館長：主に県内関係の番組の利用が多い。開設当初は声掛けしていたが、現在はしていない

その他

閉会

次回予定 2024年3月